



森ボラ 通信

森の守護神

第71号 2008年4月20日発行

NPO法人 北海道森林ボランティア協会

札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F

Tel:241-8155 : Fax:241-8308

E-mail : hshinrinv2002@nifty.com

URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

トピックス

◆ 一環境教育支援一 幌南の森プロジェクト始まります

4月16日「幌南の森」下見会報告書

出席者：幌南小学校教頭、同校担当者、PTA、北海道森林管理局ふれあいセンター、石狩森林管理署、札幌モーニングロータリークラブ(MRC)、北の森づくりサークル、北海道森林ボランティア協会

国有林と幌南小学校が遊々の森計画に基づき「幌南の森」協定を締結して当協会もこれをサポートしてゆく事になり下見会に棟方・高野・酒井の3名が参加しました。当協会の担当は看板設置と遊歩道整備で、この活動は札幌MRCの助成金により行われます。

1. 看板

添付の位置に設置することが決定しました。現在支柱の皮剥き、板のカンナがけが終了し4月22日と24日の木工活動日に製作します。

2. 遊歩道整備

今年度は添付の新遊歩道部分のササ刈りが主な作業で5月26日に看板設置のあと整備に入ります。下見会で踏査したところは希少な「モイワ菩提樹」らしきものや山野草などもあり、小学生だけでなく自分たちも楽しめそうです。

昨年までの藻岩活動地は風倒木整理で女性会員には人気がありませんでしたが、ここは「環境教育」の場作りだけあって楽しめそうです。裏情報としてそのころワラビが旬なようです。

(記、酒井)



◆ 活動報告 アイケンの森

4月10日、「アイケンの森」除伐&マキ作り。参加者15名

今日の札幌は春が早くて気温も14度と東京より暖かく最高の作業日でした。キタコブシもふっくらと花芽が膨らんできました。天気以上にうれしかったのは新人が今日だけで2人も参加したことで皆気合が入り、3月号の森ボラに掲載した調査木を除伐・玉切りし、作業道までの搬出を終了しました。今まで33cm長に玉切っていたが、相当太いものまで66cmにして人力での藪出しでした。51本の調査木のうち細いシナ、ホウの木は意外と樹冠密度が低かったので除伐は中止したが、倒木が更に見つかり総材積はほぼ調査票通りでした。

薪は3本(3kg)で灯油1リッターのカロリーに相当します。今年の冬使った灯油の反省をこめて薪作りに汗を流しました。西向きの活動地はすでに雪が溶けてアイケンの社長さんが作ってくれたソリ2台での搬出も今日が最後になりそうです。

薪を作り、タケノコを採って活動資金をつくり、活動地北東部の穴地の植栽をする活動目標はまだ緒についたばかりですが、可能な予感がしてきました。早期に実現するためには助成金のお世話にならねばなりません、少しでも活動資金を自力で汗を流して得て植林費に充てることが出来るのは民有林支援の楽しさでもあります。

さて、今日は男女一人ずつの若い新人の助けと豚汁のせいで、作業は早く終わり季節の贈り物のシラカバ樹液をいただいてから30分ほどの山登りで稲荷神社に参拝しました。しばらくぶりで参加の渡部さんは小鳥の巣を見つけてはしゃいでいました。

アイケン工業の社員さんが私たちのために作業小屋を作ってくれていましたので次回から使えらると思います。屋根の下で昼食ができそうです。(記、酒井)



■ 今月の幹事会

出席者：荻田・酒井・佐野・杉本・高野・津金・西野・棟方・山中・和田

1. お知らせ・確認事項

① 新会員の紹介

- ・只野 薫さん 中央区、既にアイケンの森に参加しました。
- ・阿部セツ子さん 中央区、山の手で庭づくりをしています。
- ・リュバンドヌールの会は4月から賛助会員に入会しました。又、その中から5名の方が個人入会しました。

古堅セツ子さん	南区
澤田 禮子さん	中央区 (リュバンドヌール事務局)
白石 智子さん	南区
廻 和子さん	清田区
山光せい子さん	豊平区

② 退会

川嶋龍博さん、関 勘悦さん、牧 庄吉さん、吉田 究さん、近藤あおいさんの5名です。

4月現在の会員数101人、賛助会員数11団体人となりました。

2. 総会は5月12日(月)16:00~17:00に決定しました。会場はリンケージプラザです。出席できない方は、委任状の提出をお願いします。
3. 芸術の森アートマーケット出展は札幌市円山動物園(10月4日(土)10:00~)に出展します。作品作りに多数参加して下さい。澄川の森で多くの作品づくりを実施します。

■ お知らせ

◆ リュバンドヌールから賛助金30万円授与さる

4月15日(火)14時、リュバンドヌールよりの授与式に酒井代表幹事と高野理事が出席しました。ノボテル札幌の例会会場には十数名の上品なご婦人ばかりの会員が大きなテーブルを囲んだ中で、酒井代表幹事の挨拶と賛助金のお礼につづいて高野理事が当会の事業概要を説明しました。

福祉関係の事業に対して支援を続けておられる会員の方なので環境問題に対しても意識が高く、熱心に対応していただき、団体としての支援の他に、個人会員として5名も入会していただきました。

これをご縁に今後の活動にリクエストをいただき、当協会として誠実に対応してゆきましょう。(記、高野)



◆ 「有明第二の森」巣箱事情

4月18日、単独で有明第二の巣箱の掃除と修理・架け換えをしました。車道と歩道沿いの17ヶを処理。鳥の利用率はあまり芳しくありませんでした。カラ類利用4ヶ、リスもしくはエゾモモンガの利用4ヶ、ハチ利用1ヶ、利用なし10ヶ。

数が合わないのは、鳥利用の後リスとモモンガが再利用したものが3ヶあるからです。写真(No.759)は苔類を主材にしたカラ類の使用の後にエゾモモンガが子育てか、越冬に利用したとみられるものです。特に巣箱満杯に断熱・保温材料を詰め込み、さらに同一種類と思われる柔らかい獣毛を使用しています。

なお、ここでの鳥の利用率が澄川より劣る原因として、巣箱の入り口の大きさが関係していると思います。写真の巣箱は前年のメンテの時に入り口を狭めたものです。巣箱の入り口は大は小を兼ねません。小鳥は自分より大きな鳥が入れる入り口ですと嫌がります。有明第二の巣箱の入り口は澄川のそれよりも大きいものが多かったのです。(記、高野)



■活動履歴

活動日	行事	参加人数	活動内容
4月17日(木)	アイケンの森	16名	除伐・玉切り
4月14日(月)	幹事会	10名	
4月12日(土)	澄川	18名	除伐
4月10日(木)	アイケンの森	15名	除伐・玉切り
4月3日(木)	アイケンの森	14名	除伐・玉切り
4月2日(水)	りんご園	11名	古木処理・剪定補助
3月29日(土)	りんご園	13名	古木処理
3月28日(金)	りんご園	10名	古木処理
3月27日(木)	りんご園	10名	古木処理
3月24日(月)	木工	12名	木工製作
3月19日(水)	澄川	15名	除伐

■ひとこま

◆ 4月12日澄川環境林 参加者18名

”桜もかじられました”

森林ボランティアとして誠に恥ずかしい報告をしなければなりません。頭では野ねずみ被害のことは良く知っているはずなのにいままで大した被害をうけたことがなく昨秋すっかり皆忘れていました。

南幌町のバイオマスヤナギの挿し穂の頭が齧られ、澄川ではニトリ助成の駐車場の29本中10本のエゾヤマザクラが平均長さ5cm幅60%ほど齧られました。下段のトラベルプラン・道新千本桜の分は全く無事でした。上段のカミネッコ植林も半分は齧られました。この木が甘いから齧るとかだけでなくエゾヤチの住んでいるところに我々が植えたための様です。

共生とは森と人との共生だけでなくネズミとの共生か、とつぶやいた人もいました。バイオマスヤナギの挿し穂はそのまま萌芽しそうですがH3mの成木のエゾヤマは4本は枯死しそうです。

殺ソ剤や忌避薬を使わず、森林ボランティアらしい対策を秋までに話し合ひましょう。プラスチックのプロテクター、トオモロコシプロテクター、レジ袋、ススキ巻きつけ、とんがらしなどの候補がでています。そのまま何もしないのも有力意見でした。ササやニセアカシアもところどころ齧られています。

今日は雪も溶けて新入会者やしばらくぶりの北大生、武田君も参加したのでここがビオトープ、ここが2本仕立て除伐地、などと説明しながら活動地を一周しながら見て歩きました。ホダ場では、ホダ木の天地返しをしましたが下流の3年前のホダ木にはシイタケが出始めていました。

この沢に住むカワニナは今年もげんきそうでした。きっとまたまた天然ホタルの乱舞が見られることでしょう。No1 木道近くはミズバショウの真っ盛りで記念写真を撮りましたが参加者が18名もいていい写真になりました。(記、酒井)

